

平成30年度 岩国市立美和西小学校 学校評価書

校長(池本 武志)

1 学校教育目標									
<p>教育目標・・・よさを生かし、たくましく生き抜く。学力・心力・体力の育成 児童のよさ・学校のよさ・地域のよさ(美和西プライド)を生かした教育課程に取り組みを通して、目標をもって、他者と協働しながら、失敗を乗り越えて、粘り強く取り組むことができる、たくましく生き抜く力(美和西ガッツ)の基盤となる、学力(基礎となる知識・技能、思考力など)・心力(規範意識、信頼、郷土愛など)・体力(基礎となる体力、運動技能、健康な生活習慣など)(美和西パワー)を育む。</p> <p>めざす児童像・・・よく学び よく遊び 助け合う 美和西っ子 「よく学び」レツツ・スタディ・・・目標を持って、すすんで考え、友だちと話し合うことを通して、よりよく課題解決する子 「よく遊び」レツツ・プレイ・・・誰とでも楽しく遊び、目標を持ってすすんで体力・運動技能を高め、食べものに感謝して、健康な生活をする子 「助け合う」レツツ・トライ・・・すすんであいさつを交わし、困っている人のために自分ができることをして、みんなが楽しい学校・地域になるよう協力すること</p>									
2 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)									
<p>学力向上については、授業改善や人数の良さを生かした基礎学力定着への取組をした。しかし、依然として基礎的な読み・書き・計算の定着、思考力・表現力に課題がある。生徒指導においては、地域でのあいさつや外遊びの取組では一定の成果があった。さらに主体的に考え、取り組む経験を積ませることを通して、主体性やリーダーシップを保護者・地域と連携して育んでいくことが今後の課題である。家庭・地域との連携は、美和の特色を生かした体験を通して郷土愛を育むことができた。さらに多くの地域の方に来校していただき、児童につけたい力(課題解決能力)を共有して取り組むことが今後の課題である。人材育成・業務改善については、指導力向上への取組で成果があった。残業時間削減については、さらなる業務のスリム化を図ること、教職員の意識改革を図ると共に保護者・地域の理解を得ることが課題である。</p>									
3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題									
<p>本年度の柱となる方針 1 目標を持たせて鍛える 2 任せて主体性・協働性を育む 3 小中一貫教育に向けた目標の共有・教育課程の編成 今年度の重点目標 1(学力向上)学力を全国レベルに高める 2(心力向上)自分で考え、よりよく行動する態度を育む 3(体力向上)遊びを通して体力・主体性・挑戦意欲を高める(遊育) 4(人材育成・業務改善)指導力の向上と残業時間削減</p>									
4 自己評価								5 学校関係者評価	
評価領域	重点目標	具体的方法(教育活動)	評価基準	取組状況および成果・課題	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見・要望等	評価	
学力向上	1 目標を持たせた基礎学力(読み・書き・計算)の鍛錬	○スキルアップタイム(火・算数・本・国語)、レツツスタディタイム(月6校時の活用) ○学習規律(姿勢、学習の約束、聞き方、発表の仕方)の指導	○学力確認問題・学期末評価テストで県平均を上回った。 ○学年別言語能力一覧表で、8割の児童が達成できた。						
	2 多様な考えを引き出し、学びあいを通してより質の高い知識・技能を習得させる授業	○学力向上推進教員と連携した授業研究・ミニ研修の実施 ○言語能力を育成する国語科の授業研究	○全員の児童が考えを持つことができる発問をした。 ○学び合いが広がる発問や場を工夫した。 ○振り返りで高い知識・技能を習得させることができた。						
	3 情報教育の推進(ICT活用、情報活用能力の育成)	○大型テレビの導入と活用研修 ○読書タイムで多様な本に触れる工夫	○積極的にICTを活用した。 ○情報活用能力を育む指導力を高めた。						
	4 家庭と連携した家庭学習・言語能力の育成(ノーテレビ・ノーゲーム)	○家庭学習の手引きの作成と手引きを活用した家庭との情報共有	○家庭と連携して家庭学習の習慣が定着した。						
心力向上	1 「善悪の判断、自律、自由と責任」、「友情、信頼」を重点内容項目とした道徳教育	○特活・行事と道徳科を関連させた授業構想 ○主体的に考え新しい価値観と出会える授業	○特活・行事、体験と道徳科を関連させた授業ができた。 ○児童の多様な意見を引き出す発問ができた。 ○考えを出し合うことを通して価値観を深めることができた。						
	2 主体性・リーダーシップを育む特別活動・行事	○係、委員会、クラブ、集会以児童による計画、実行、評価	○代表委員会で児童会活動などについて話し合い、評価、改善することができた。 ○学級会や係活動などでよりよい学級に向けて話し合い、評価、改善することができた。						
	3 あいさつくつそろえ運動(いつでも、どこでも、だれにでも)	○運営委員会によるあいさつ運動、健康委員会によるくつそろえ運動	○児童が主体的に取り組む運動ができた。 ○保護者・地域の理解と協力を得た運動ができた。						
体力向上	1 目標を持たせた基体力・運動能力の鍛錬	○体力テスト等において過去のデータを生かした目標値の設定	○体力テスト等の結果を生かして課題を把握し、解決に向けた運動をしている。						
	2 児童企画の遊び(体力づくり・運動行事)	○高学年による全校遊びの企画・運営	○高学年児童が全校遊びを企画することができた。 ○児童が主体となって企画した体力作りに取り組めた。						
	3 保護者・地域と連携した遊びの体験	○PTA保体部等と連携したスポーツや遊び	○PTA保体部や地域が企画したスポーツや遊びをした。 ○異年齢集団でいろいろな遊びを体験できた。						
人材育成・業務改善	1 学力向上に係る小中一貫教育推進を通じた指導力向上	○小中一貫教育の各分野の教育課程編成(美和学、生徒指導、言語能力の育成)	○小中一貫教育のカリキュラムづくりに取り組めた。						
	2 教職員のマネジメント力向上	○プロジェクトによるPDCA	○重点目標達成に向けたPDCAマネジメントに取り組むことができた。						
	3 残業時間の削減(前年度比10%削減)	○会議時間短縮、行事練習の短縮化	○会議短縮に取り組むことができた。 ○行事、集会の練習、準備の短縮化を図った。 ○残業時間を前年度比10%減を達成できた。						
6 学校評価総括(取組の成果と課題)									
7 次年度への改善策									